

かわむら **こども** クリニック NEWS

Volume 9 No 08

9 7 号

平成13年 8月 1日

かわむらこどもクリニック 022-271-5255 HOMEPAGE <http://www.kodomo-clinic.or.jp/>

二兎を追う者は...

皆さん、「二兎を追う者は、一兎も得ず」ということわざを知っていますか。兎とはウサギのことで、同時に二つのことをしようとすると、どちらも失敗するという意味です。

診療場面では、この二匹のウサギにたくさん出くわします。例えば、「薬を飲まないけど咳を止めたい」、「牛乳を飲ませながら下痢が止らない」、「熱があるけど風呂に入れていいか」などです。この場合の二兎は、「薬を飲みたくない」と咳を止めたい、「牛乳を飲みたいと下痢を止めたい」、「熱があることと風呂に入りたい(入れたい)」ということになります。

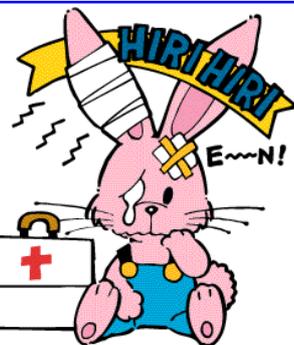
「二兎を追うもの...」は、どこから来るのでしょうか。一つはお母さん方の認識の不足です。しかしお母さん方だけの責任ではありません。小生も自分の母親から、「下痢の時は牛乳は飲まないように。消化の良いもの、特にお粥がいい。」と言われ、また「熱があったら、お風呂には入らないこと」と教えられました。このようなことは、昔から語り続けられているはずですが。一部のお母さん方では、その伝達が足りなかったのかもしれない。また、子どものわがママを受け入れ過ぎることも、原因の一つでしょう。「苦いから薬を飲みたくない」、「牛乳を飲みたいと泣く」、「熱があってもお風呂に入りたいと騒ぐ」となれば、受け入れたいと思うでしょう。「熱があるのに幼稚園に行きたいというけど、どうしたらいいでしょうか」の質問も、同じと考えていいかもしれません。気になる症状があり次の来院日を指定すると、「仕事で来れない」と言うお母さんもいます。これも同じわがママで、どちらが優先されるかは明らかです。

正直なことを言えば、薬を飲まなくてもいいし、牛乳を飲ませても、お風呂に入れてもいいのです。ただその場合、一兎も得られないこともあるという認識が必要なのです。そして大事なことは、母親として後悔しないということです。厳しい言い方ですが、親としての責任がとれるなら、判断は自由なのです。極端な例ですが、輸血をしなければ救命でき

なくても拒否する宗教があります。医師として認めるつもりはありませんが、本人の意志であれば宗教の自由が優先されることがあります。「輸血を受ける罪の方が大きく、命を落としても教えを守る」。つまり後悔しなければ構わないのです。咳が止らなくても、下痢も治らなくても、風呂に入ったり幼稚園に行ったりして具合が悪くなくても、仕方ないと思えば問題はありません。しかし、ほとんどのお母さんは、咳や下痢を止めたいし、子どもの具合を良くしたいはずですが。熱があるのにお風呂に入れて、ひきつけでも起こすようでは大変です。常識を無視して子どもの健康に被害が及ぶようであれば、虐待と言われても仕方がないことです。

育児ではわがママへの対応は、とても大切なことなのです。少子化影響もあり、子どもは大切に育てられています。大切にすることと、わがママを許すということは違います。年齢によって、わがママへの対応は変わってきますが、子どもに悪影響を及ぼすようなわがママに対しては、我慢をさせることが重要なのです。この我慢を教えることが、しつけの一つです。「二兎を追うもの...」は、しつけに対することわざとしても、重要なポイントなのです。我慢が出来ずキレてしまう子どもが、増えています。適度の我慢は、キレる子どもを減らすかもしれません。よくお母さんに伝える言葉の一つ、「いつもわがママばかり通していると、いつかキレて殴られるかもしれないよ」。

どうしても二兎を追うのであれば、片方がだめでも後悔はしないという意識が必要です。状況に応じて優先順位をつけ、何が大切なのか見極めることが必要です。「二兎を追うもの...」は、同時に二つのことを達成できないという意味においては、子育てだけでなく人生にも大変役立つ、ことわざです。そして最後に、わがママ(親と子)と、しつけについても、考えてみましょう。



8月のお知らせ

・栄養育児相談

毎週水曜 13:30 ~

栄養士担当・参加無料

・夏季休暇 詳しくは、右を

8月13日~18日

暑い中、日焼けや熱中症に注意を!!。十分な水分の補給を!!。



夏季休暇について 今年も下記のように夏季休暇となります。よろしく、御理解と御協力をお願いいたします。

8月13日(月)~18日(土)

私事ですが、骨折後のプレート除去のため入院となります。前回術後1週間目に、麻酔の後遺症で休診となりました。御迷惑をおかけすることもあるので、**20日(月)の受診は、出来るだけお避け下さい。**それでは皆さんも、よい夏休みを!。また患者さん専用のメールも、お休みさせて下さい。よろしく!

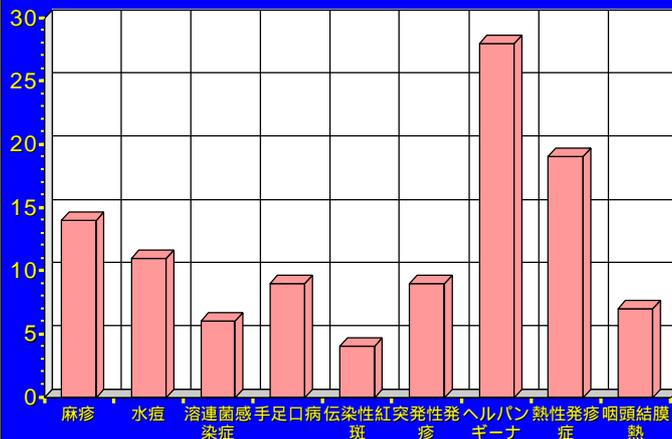
読者の広場

先月も30件近いメールと投書を頂き、ありがとうございました。青葉区の若松さんから、「いつもお世話になっております、若松凜の母です。何か気になる事があると先生のホームページを見て安心しております。ひよこクラブ見ました。なんだか有名な先生に子供を診ていただいているんだなあと、なぜか鼻高々なきぶんでした。さっそくですが、昨日6月29日に耳を診ていただいた件なんです。なんでもないと言われとても安心して帰ってきたのですが、今日の朝息子を抱きあげると、すごく変なおいがしたんです。もしかして耳?と思ひ鼻を近づけるとやっぱりそうでした。(中略)昨日診ていただいたばかりですが、昨日までとは全然違ったので気になりメールをしました。お忙しいとは思いますが、よろしくお願いいたします。」と、メールを戴きました。症状が気になったので直接電話し、メールでも次のように「その後どうですか?。気になったので、メールより電話がいいと思いました。急を有する場合は、電話の方がいいかもしれません。まして日中であれば、必ず連絡がつかます。メールはメールで、上手に利用してください。有名な先生かどうかは、皆さんが判断してください。(中略)また何かあれば、遠慮なくどうぞ。」と返信しました。そして、「お返事ありがとうございます。病院に行ったのでお返事をいただけるとは思っていなかったので感激しました。メールを送った時も、先生はともお忙しいので、お返事はいつになるのかなあと思っていたんです。それなのに午後にはお電話をいただいたので、本当に驚き、うれしかったです。ありがとうございます。こんなにいい先生に診ていただいているんだという自慢と共に、先生のホームページを、数少ないママ友に教えました。教えたことによって先生はまたお忙しくなってしまいますけど、教えずにはいられませんでした。ご心配いただいた、息子の耳は、あれから何も出てきていません。綿棒を入れてみてもほとんど何もついてこない状態です。ひと安心しています。ただ、薬を耳に入れて5分間横を向かせているのは大変ですね。嫌がって暴れるし、耳を触ろうとしたり、触った指をしゃぶろうとするので一苦労ですが、なんとかがんばっています。(中略)もし新聞に載せていただくときは、名前を出していただいても結構です。」も、頂きました。皆さんの目に見えないところで、こんなコミュニケーションもあるのです。次は青葉区区のSさんからのメールです。「今日はお世話になりました。私の不注意で子供をベットから転落させてしまい、その後、いつもと変わらずニコニコしていた子供でしたが、とても不安になって。自分の不注意でこのような事故をおこしてしまったことで、母親である自分に不安を感じ、今までの育児の不安や心配ごとまで溢れるように込み上げ、自信がなくなってしまいました。とにかく先生にと、思い診ていただいたのですが、先生がおっしゃること一つ一つが私に強く伝わり、自分の知識不足も思い知らされました。反面、もっとしっかりしないとという母親としての自覚も復活!。」。「これから先、二度と同じ失敗がないよう気をつけていきたいです。また、診察後、看護婦さんが声をかけてくださいました。その気づかひがどんなにうれしかったか。思わず涙してしまい、不安も心配も一気にスーッとぬけた瞬間でもありました。まだ、仙台に来て間もない私たちですが、これからも支えになっていただけたらと思うSの母でした。(院内報、新聞でも教えていただけることが多いので、助かっています)」。携帯の文字数の制限が、わざわざ2回に分けて送ってくれたこと、気持ちが余計に伝わってきます。富谷町の福土さんから、当院に対する思いを綴った手紙(何れ紹介予定)を頂きました。当院は、このような



100号特集号について もうすぐ創刊100号になります。これを記念して、特集号を計画しています。紙面を増やして、様々な企画をしたいと思ひます。是非、特集号に、当院に対する思いや記念になるもの(写真でも絵でも可)を。一つの区切り、思い出になればよいと思ひます。どしどし応募を!!。詳しくは、院内掲示する予定です。

7月の感染症の集計



6月末に麻疹の患者さんが出たことは、先月お知らせしました。その後クリニックの中で広がってしまいました。麻疹は最初は風邪と区別できないことも、広がる原因です。院内に掲示してありますが、感染の恐れがある患者さんは、呼びだしてワクチンなどの対応をしました。対応の効果もあって、ほとんど収束しました。いろいろ御面倒や御迷惑をかけました。今回の感染で特徴的なのは、1歳未満のお子さんが多かったことと、2~3人ですがお母さんも感染してしまいました。全国的にも成人の麻疹が、問題になってます。麻疹の既往の無い人、1歳未満での保育園に預けている場合、予防接種は可能です。御相談下さい。ともかく早めに!!。

水痘が減少傾向ですが、ヘルパンギーナなどの、いわゆる夏風邪が目立ってきました。

編集後記

不可抗力とは言え、麻疹が広がったこと自体、スタッフ一同大きなストレスでした。患者さんは少し減ってきて、1年で一番暇な時期を迎えるはずなのに。このところの気温の低さも、入院も、早く暑い夏になり、少し日に焼けた顔を見せたいと思ひます。

